

## 「サポートファイルさっぽろ」について

このファイルの主な目的は、一人一人のお子さんについて、その個性や特徴に応じた一貫した支援がなされること、そして多くの人たちが連携を深めることにあります。お子さんの成長に合わせた継続性のある支援を行うことができるよう、札幌市として、市内の各関係機関と協力して活用に取り組んでいるものです。

このファイルは、育ちと学びを支える資料として、すべてのお子さんとその保護者の方が使うことができます。乳幼児健康診査や母子健康手帳といっしょに使うことで、お子さんの発育や発達を総合的に捉えることができます。

また、保護者の皆様や本人が学校や医療機関などに相談するときの的確に説明するツールとして活用することや、関係者がお子さんの個性や特徴、これまでの経過などを共通理解し、自立に向けた手だてを共有することなどにより、一貫した支援を受けることをサポートするものです。

### ○ファイルの使い方

関係機関との連携を基にして、お子さんに関する様々な情報を、原則的には保護者の方が記録・保管していきます。ファイルの内容は大変貴重な個人情報ですので、大切に扱ってください。

また、各種相談の際には母子健康手帳と同様に本ファイルを持参し、状況に応じて、必要なページを関係者に見てもらったり、書いてもらったりします。状況に変更があった場合などは、随時書き直したり書き加えたりします。

### ○記入の仕方

すべてのページを記入する必要はありませんし、どのページから書き始めてもかまいません。お子さんのことや関係者に知ってほしいこと、伝えたいことなどを記入することが大切です。1ページ内に書き込みきれない場合には、適宜用紙を追加してください。

様式は、保健福祉局障がい福祉課、札幌市教育センターで受け取れるほか、保健福祉局のホームページからもダウンロードできます。必要に応じて様式を追加しながら、それぞれのファイルを作りあげていくことが大切です。

※ ホームページでは、各様式のほか、ファイルの記載例・活用例も掲載しています。

使い方、記入の仕方について、詳しくは記載例・活用例をご参照ください。

### ○関係者の方へ

一つ一つの情報を紡いでいくことが、継続した支援には大変重要です。ご本人・保護者の方の記入による情報はもちろんですが、お子さんと出会った関係者の皆様それぞれの視点からの情報もお子さんの育ちに欠かすことができません。

どうぞ積極的にご活用いただくとともに、保護者の方などからのご要望等にご協力いただきますようお願いいたします。

### ◆問い合わせ先◆

札幌市保健福祉局	障がい福祉課	TEL 211-2936
札幌市教育センター	教育相談担当課	TEL 671-3210
	幼児教育センター	TEL 671-3454

## 「サポートファイルさっぽろ」の各シートについて

### I フェイスシート

- お子さんのことについて
- 緊急連絡先、家族構成
- お子さんの様子（胎生時、出産時、乳幼児期、健康状態）

フェイスシートは、お子さんについての基本的な情報を記入するもので、いわゆる、プロフィールのようなものであり、お子さんの支援につながる「サポートファイルさっぽろ」の窓口です。

### II ヒストリーシート

- 相談の記録
- 関係機関の情報
- 手帳等の交付、福祉サービス等の利用状況

ヒストリーシートは、お子さんの関係機関等での相談の記録などを記入するものです。また、手帳の交付を受けたり、福祉サービスの利用について記入したりするなど、備忘録として活用します。

### III サポートシート

- 現在の様子（保育所、幼稚園等、学校）
- サポートプラン
- サポートマップ

サポートシートは、お子さんについての支援の計画を作成し記入するものです。お子さんの現在の様子をもとに、支援者とともに、長期や短期の目標を立て、お子さんの支援に役立てていきます。

### IV オプションシート

- ひきつぎシート（保育所、幼稚園等から小学校、小学校から中学校）
- 療育機関等での記録
- 連絡（ひきつぎ）シート
- 就労等に関わる記録
- 自己紹介
- 受診歴
- 職歴・就労相談歴

オプションシートは、ひきつぎや関係機関との連絡、また、就労に関わる記録など、必要に応じて使用するシートです。就学や就労など、それぞれの接続に役立てていきます。